

## 賀茂広域消費生活センター設置の成果

(賀茂広域消費生活センター)

### 1 概要

賀茂地域では単独市町での消費生活センター設置は財政的・人的に困難であったため、消費者庁の交付金を活用して県と6市町が共同で賀茂広域消費生活センターを設置した(平成28年4月開設)。

センター設置以降、専門知識を持った相談員が相談に対応し、被害救済を図ることができるようになり、住民の安心・安全に大きく貢献している。

消費者庁の交付金は令和6年度をもって終了となるため、7年度以降の費用負担については今後協議していく。

### 2 消費生活相談の成果

#### (1) 相談件数

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
賀茂C 受付件数	75 (市町受付)	222	253	266	233	265	203
対H27比		2.96倍	3.37倍	3.55倍	3.11倍	3.53倍	2.71倍
東部C 受付件数	150	66	64	59	50	54	52
計	225	288	317	325	283	319	255

センター設置前は、困難な案件は東部県民生活センターに対応してもらっていたが、平成28年度以降はより身近な賀茂広域消費生活センターで対応できることとなり、賀茂管内での相談受付は3.5倍にもなり、東部への相談件数は設置前の約3分の1に減少している。

#### (2) 千人当たり件数(「賀茂」には他センターの賀茂住人からの受付含む)

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3
賀茂	4.7	5.3	5.5	4.8	5.7	4.6
県全体	6.9	8.0	7.7	7.1	7.4	6.5
差	2.2	2.7	2.2	2.3	1.7	1.9

千人当たりの相談件数の県全体との差は徐々に縮まってきているが、まだ2件近くの開きがあり、潜在的な需要はまだまだあると思われる。

## (3) 救済金額

(単位：千円)

年度		H28	H29	H30	R元	R2	R3
被害回復額	回復額	291 (13件)	1,363 (24件)	3,155 (24件)	2,791 (22件)	6,377 (22件)	972 (22件)
	クーリング ・オフ	3,411 (4件)	299 (3件)	354 (6件)	1,650 (1件)	39 (2件)	715 (4件)
未然防止額		4,213 (14件)	3,780 (20件)	3,156 (7件)	390 (2件)	800 (4件)	14,685 (11件)
計		7,915	5,442	6,665	4,831	7,216	16,372

## (4) 主な相談内容（令和3年度）

- ・お試しと思い購入した化粧品が定期購入になっていた。やめたい
- ・ネット通販で注文した商品が届かない
- ・電気代が安くなると勧誘を受け契約したが、元に戻したい
- ・SNSで知り合った人から暗号資産の投資を進められたが、出金できない
- ・簡単にもうかる副業をやったが全く儲からず、逆に大金を支払ってしまった

## 3 県民相談の成果

## (1) 相談件数

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3
件数	196	169	158	155	119	121
前年度比	87.1%	86.2%	93.5%	98.1%	76.8%	101.7%

## (2) 県内他の県民生活センターとの比較

## ① 人口千人あたりの相談件数（令和3年度）

	賀茂	東部	中部	西部	県全体
相談件数	121	1,338	446	544	2,449
千人当り件数	2.10	1.22	0.39	0.42	0.68

賀茂における県民相談は、件数としては少ないが、人口比で見ると千人当り約2.1件と、むしろ県内で一番多く、需要があることがわかる。

## ② 相談内容比較（令和3年度）

		賀茂	東部	中部	西部
身の上 法律・	1位	金銭貸借 (25)	相続 (253)	相続 (72)	相続 (103)
	2位	相続 (14)	婚姻 (204)	金銭貸借 (38)	婚姻 (98)
	3位	商品売買等 (12)	金銭貸借 (113)	親子等 (37)	金銭貸借 (43)
行政相談		16件 (13.2%)	31件 (2.3%)	19件 (4.3%)	30件 (5.5%)

賀茂では、相談全体に占める行政相談の割合が他センターよりも多いが、これは適切な相談窓口を案内するコンシェルジュ機能が求められているといえる。

#### 4 消費者教育の成果

##### (1) 出前講座

年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3
回数	33回	27回	16回	14回	11回	4回
受講者数	1,679人	1,181人	780人	704人	615人	403人

令和4年4月からの成年年齢引下げに向けて、令和2年度から管内の高校生に対して消費者教育出前講座を実施し、大人になる前に覚えておくべき契約の基礎知識や消費者トラブルへの注意喚起、クレジットカードの注意点などを話している。

残念ながらコロナ禍で人が集まる機会が失われたため、出前講座の件数は少なくなっているが、今後増やしていきたい。

##### (2) 啓発

- ・5月の消費者月間及び12月の消費者被害防止月間にセンターと各市町職員、警察と一緒に街頭キャンペーンを実施。
- ・年3～4回、相談の多いトラブルなどに注意を促す「くらしが変わるカモ！」というリーフレットを作成し、全戸回覧している。
- ・下田市のケーブルテレビで毎月啓発番組を放映。
- ・各市町の広報誌を活用した啓発を実施

#### 5 他分野との連携

##### (1) 消費者安全確保地域協議会

判断能力に不安のある高齢者や障害者の消費者被害を未然に防ぐためには、周囲の見守りが欠かせない。各市町の福祉部門で構築されている見守りネットワークの仕組みに、賀茂広域消費生活センターも参加することで、効果的な見守りが期待できる。

令和3年度に東伊豆町に消費者安全確保地域協議会を設置。管内市町にも設置を働きかけている。

##### (2) 多職種専門家による相談会

一つの相談の背景には、その窓口だけでは対応しきれない多くの分野にわたる困りごとが隠れていることも多い。

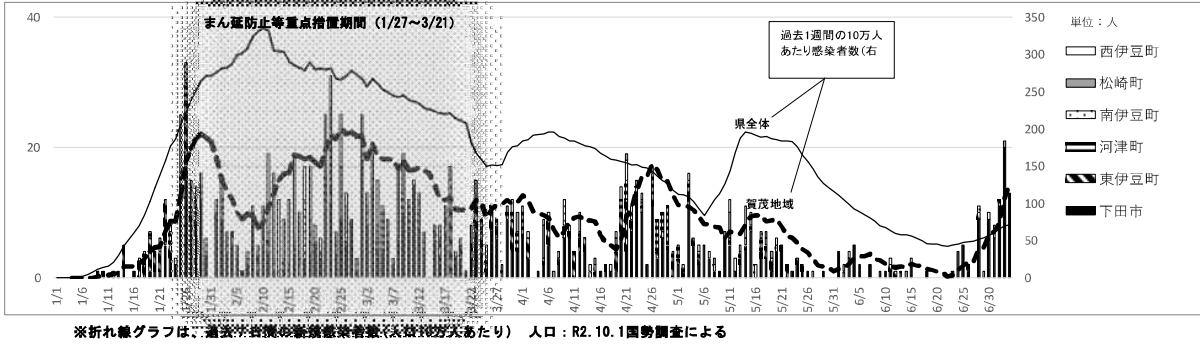
県地域福祉課の事業「福祉・医療・司法 なんでもかんでも相談会」に、管内全域を管轄する消費生活センターとして参加し、賀茂地域における多職種相談体制の構築に協力している。

賀茂地域における新型コロナウイルス感染症の状況 (R4.7.4現在)

出典：県記者提供資料

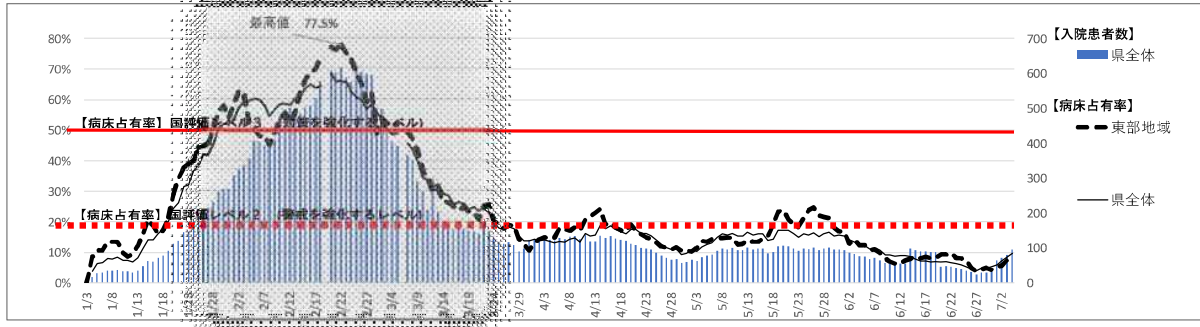
賀茂地域新規感染者数 (R4.1.1以降)

・県全体、賀茂地域とも減少傾向が継続していたが、6月下旬から増加傾向となっている。  
 賀茂地域では、特に下田市の感染者数が急増している。



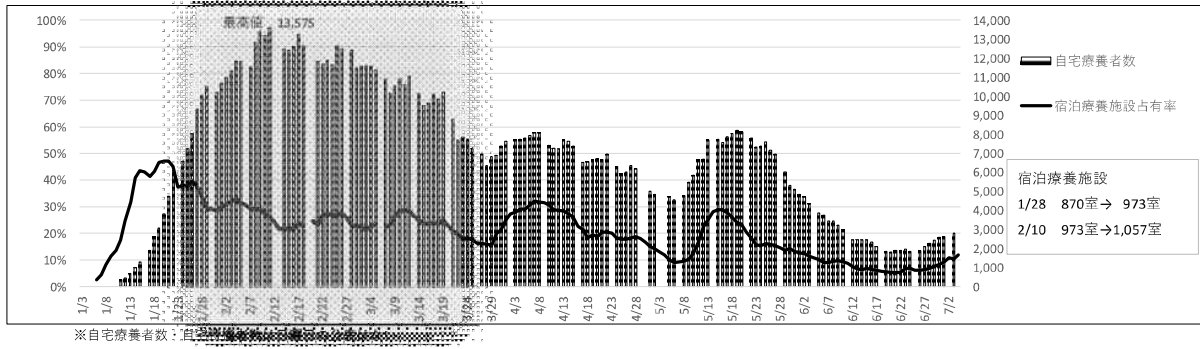
病床占有率・入院患者数 (R4.1.1以降)

・県全体及び東部の占有率は、GW後増加したが、その後減少傾向となっている。



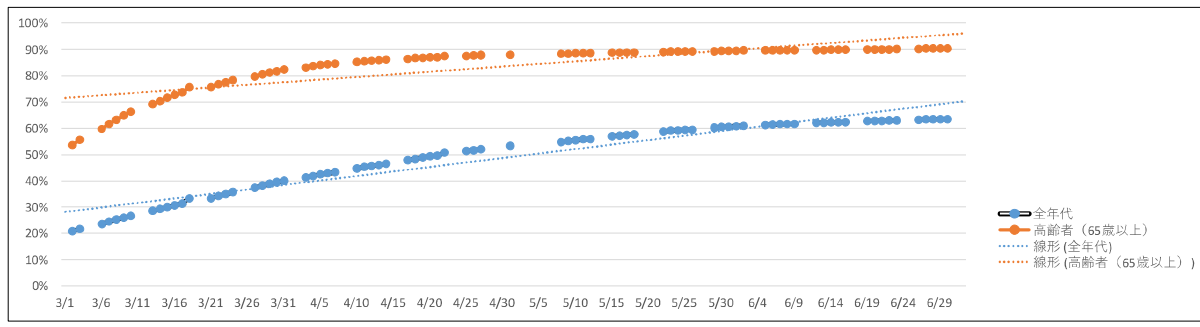
県内宿泊療養施設の入居状況、自宅療養者数

・宿泊療養施設の占有率及び自宅療養者は、GW後から増加していたが、その後減少傾向となっている。



県内ワクチン接種率(3回目) (R4.3.1以降)

・高齢者の接種率が90%を超えている。一方、全年代では高齢者と比較し、50%以降の伸びが鈍い。



提供日 2022/06/03  
 タイトル ゴールデンウィーク期間中の観光交流客の入込状況  
 担当 スポーツ・文化観光部 観光交流局観光政策課  
 連絡先 企画班  
 TEL 054-221-3638



令和4年度のゴールデンウィーク期間中(4月29日～5月8日)の主要37観光施設の入込客数は、3年ぶりに緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の適用がなく、前年比143.2%となった。

また、主要イベントの入込客数は前年比344.7%となり、主要観光地域12地域の宿泊者数は10地域で前年比105%以上となった。宿泊者数については、平成31年・令和元年と比較をしても5地域が例年並み以上となり、少しずつではあるが回復の兆しが現れている。

### 1 観光施設の入込客数

調査対象	主要37観光施設
概要	主要37観光施設の入込客数は、前年比143.2% (平成31年・令和元年比は74.8%)
特記事項	○伊東マリンタウンでは、飲食店で開店前から入店待ちの行列が発生するなど、前年比171.4%となった。一方、平成31年・令和元年比77.8%となり、観光バス利用の団体客が大幅に減少していることが影響している。 ○浜名湖ガーデンパークでは、「浜名湖花フェスタ2022」等の期間中で、天候も良く、屋外施設である安心感も相まって対前年比及び平成31年・令和元年比ともに120%以上となった。

### 2 イベントの入込客数

調査対象	主要6イベント
概要	主要6イベントの入込客数は、前年比344.7% (平成31年・令和元年比は11.3%)
特記事項	○昨年度中止となった、あたまビール祭りが今年は開催され、無観客開催であった浜松まつりも今年は観客を入れて開催された。 ○浅間大社流鏑馬祭は、神事のための縮小開催となったが、前年に比べて2倍の入込となり、通常開催の平成31年・令和元年比では57.8%となった。

### 3 宿泊者数の増減の傾向

調査対象	主要観光地域12地域
概要	10地域で前年比105%以上
特記事項	下田市では、全体的に増加傾向であり、7～8割は事前予約で埋まっていたが、天候の回復した5月2日～4日は当日受入の宿泊者も多かった。傾向として家族連れのファミリー層に加え、素泊まりや一人客の宿泊が増えた。

<参考資料>

1 観光施設への入込状況

(単位：人)

NO.	市町	施設名	令和4年	令和3年	平成31年 ・令和元年	対前年比	平成31年 ・令和元年比
1	沼津市	沼津港水門展望施設びゅうお	11,837	4,761	15,026	248.6%	78.8%
2	三島市	三島スカイウォーク	73,500	46,000	103,500	159.8%	71.0%
3	伊東市	伊東マリンタウン	92,527	53,990	118,974	171.4%	77.8%
4	下田市	道の駅開国下田みなと	17,577	10,548	22,642	166.6%	77.6%
5	伊豆市	修善寺虹の郷	13,647	10,153	13,450	134.4%	101.5%
6	伊豆の国市	菫山反射炉	8,010	2,793	13,511	286.8%	59.3%
7	富士宮市	白糸の滝	24,791	18,264	25,412	135.7%	97.6%
8	富士市	富士山こどもの国	28,181	21,059	30,077	133.8%	93.7%
9	富士市	富士川楽座	129,721	104,108	145,613	124.6%	89.1%
10	御殿場市	富士山樹空の森	27,049	14,763	34,458	183.2%	78.5%
11	小山町	道の駅すばしり	12,302	7,810	-	157.5%	皆増
12	静岡市	静岡県立美術館	2,745	2,463	6,280	111.4%	43.7%
13	静岡市	静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)	13,832	4,054	21,905	341.2%	63.1%
14	静岡市	駿河湾フェリー	6,177	3,595	9,262	171.8%	66.7%
15	静岡市	エスパルスドリームプラザ	137,000	123,000	201,000	111.4%	68.2%
16	静岡市	静岡市三保松原文化創造センター(みほしるべ)	22,290	14,994	42,092	148.7%	53.0%
17	静岡市	日本平動物園	44,799	28,771	49,461	155.7%	90.6%
18	島田市	川根温泉ふれあいの泉	8,018	6,821	14,629	117.5%	54.8%
19	島田市	蓬萊橋	9,758	6,567	10,296	148.6%	94.8%
20	焼津市	焼津さかなセンター	54,348	30,667	80,563	177.2%	67.5%
21	掛川市	掛川城	8,895	4,149	12,739	214.4%	69.8%
22	森町	森町体験の里アクティ森	3,799	4,232	11,595	89.8%	32.8%
23	浜松市	龍潭寺	3,840	2,880	8,520	133.3%	45.1%
24	浜松市	浜名湖ガーデンパーク	98,019	77,781	79,266	126.0%	123.7%
25	浜松市	はままつフラワーパーク	35,120	26,195	55,170	134.1%	63.7%
26	浜松市	浜松市動物園	40,815	31,155	36,461	131.0%	111.9%
27	富士宮市	静岡県富士山世界遺産センター	6,345	4,089	20,213	155.2%	31.4%
28	島田市	ふじのくに茶の都ミュージアム	6,317	4,056	7,761	155.7%	81.4%
29	静岡市	日本平山頂シンボル施設(日本平夢テラス)	28,984	16,469	65,647	176.0%	44.2%
その他施設(公表不可8施設合計)			151,376	97,133	243,095	155.8%	62.3%
計			1,121,619	783,320	1,498,618	143.2%	74.8%

## 2 イベントへの入込客数

(単位：人)

NO.	市町	イベント名	令和4年	令和3年	平成31年・令和元年	比較増減 対前年比		比較増減 平成31年度 ・令和元年度比	
1	熱海市	あたまビール祭り	14,378	0	50,000	14,378	皆増	▲ 35,622	28.8%
2	熱海市	花まつり	17,794	11,626	13,253	6,168	153.1%	4,541	134.3%
3	伊東市	小室山公園つつじ祭り	28,400	16,600	35,700	11,800	171.1%	▲ 7,300	79.6%
4	富士宮市	浅間大社流鏑馬祭	52,000	25,000	90,000	27,000	208.0%	▲ 38,000	57.8%
5	藤枝市	藤まつり	37,100	25,800	129,000	11,300	143.8%	▲ 91,900	28.8%
6	浜松市	浜松まつり	122,763	0	2,097,000	122,763	皆増	▲ 1,974,237	5.9%
計			272,435	79,026	2,414,953	193,409	344.7%	▲ 2,142,518	11.3%

## 3 宿泊者数の増減の傾向

前年、前々年との比較

NO.	地域名	前年比	平成31年・令和元年比	NO.	地域名	前年比	平成31年・令和元年比
1	熱海市	◎	□	7-②	伊豆市 (中伊豆)	◎	△
2	伊東市	◎	▲	8	伊豆の国市 (伊豆長岡温泉)	◎	△
3	下田市	◎	△	9	川根本町	□	□
4	東伊豆町	□	□	10	舘山寺	○	□
5	南伊豆町	○	▲	11	河津町	□	○
6	西伊豆町	○	▲	12	松崎町	○	▲
7-①	伊豆市 (土肥)	○	△				

(◎:大幅増加(+10%以上または皆増)、○:増加(+5%以上)、□:例年並み(±5%以内)、△:減少(-5%以下)、▲:大幅減少(-10%以下))

## 4 調査対象期間中の曜日及び県中部の天候の状況(網掛は平日)

年	4月29日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日	5月8日
令和4年	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
	雨時々曇	曇時々晴 一時雨	雨時々曇	晴時々曇	晴	晴	晴時々曇	曇	晴時々曇	晴時々曇
令和3年	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	雨	晴 一時雨	晴後雨 時々曇	晴後 一時雨	晴	晴	雨時々曇	曇時々晴	曇後 時々雨	晴後 時々曇
平成31年 ・令和元年	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
	雨	雨	曇後雨	晴 一時曇	曇	晴後曇 一時雨	曇後晴	曇一時雨	晴	晴後 一時曇

## 令和4年度 伊豆半島における海水浴場の海開きの時期等

(令和4年6月17日時点)

市町名	海水浴場名	公営・民営	開設時期	安全管理体制等	
下田市	白浜中央海水浴場	公営	7月16日～8月28日	ライフセーバーの設置	
	白浜大浜海水浴場				
	外浦海水浴場		7月16日～8月21日		
	九十浜海水浴場		7月16日～8月28日	監視員の設置	
	鍋田浜海水浴場		7月16日～8月21日	ライフセーバーの配置	
	多々戸浜海水浴場		7月16日～8月28日		
	入田浜海水浴場				
	吉佐美大浜海水浴場			監視員の設置	
	田牛海水浴場				
	柿崎海水浴場		8月6日～8月14日	ライフセーバーの配置	
東伊豆町	熱川 YOU 湯ビーチ	民営	7月23日～8月21日	ライフセーバーの配置	
	磯 Sea Garden IKEJIRI	民営	7月23日～8月28日	観光協会職員による監視	
河津町	今井浜海水浴場	民営	7月下旬～8月21日	ライフセーバーによる海面監視、安全指導、救助を実施	
	河津浜海水浴場	民営	休止	町によるパトロールの実施	
南伊豆町	弓ヶ浜海水浴場	公営	7月上旬～8月下旬 (予定)	ライフセーバーによる海面監視、安全指導、救助を実施	
	子浦海水浴場	公営	7月中旬～8月中旬	監視員による海面監視の実施	
松崎町	松崎海岸	公営	7月16日～8月21日 (予定)	海水浴場開設期間中のライフセーバーの設置	
	岩地海岸				
	石部海岸				
	雲見海岸				
西伊豆町	大浜海水浴場	公営	7月16日～8月21日 (予定)	ライフセーバーの設置 (予定)	
	乗浜海水浴場				
	田子瀬浜海水浴場				
	浮島海水浴場				緊急連絡員の設置 (予定)
	大田子海水浴場				ライフセーバーの設置 (予定)
	安良里海水浴場				緊急連絡員の設置 (予定)
	黄金崎海水浴場				ライフセーバーの設置 (予定)
	宇久須海水浴場				緊急連絡員の設置 (予定)
	深田海水浴場 (クリスタルビーチ)				ライフセーバーの設置 (予定)



市町名	海水浴場名	公営・民営	開設時期	安全管理体制等
沼津市	御浜海水浴場	公営	7月16日～8月31日	監視業務
	平沢海水浴場			
	大瀬海水浴場		7月16日～8月21日	
	井田海水浴場		休止	
	島郷海水浴場			
	千本海水浴場		7月16日～8月31日	三津海浜組合による定期的な巡回
熱海市	熱海サンビーチ海水浴場	公営	7月8日～8月27日	監視員（ライフセーバー）配置
	長浜海水浴場			監視員配置
	網代温泉海水浴場			
伊東市	伊東海水浴場 （オレンジビーチ）	公営	7月16日～8月28日	監視所設置 ※川奈いるか浜公園については、市が設置している海水浴場ではないが、安全確保のため、例年監視員を常駐させている。
	宇佐美海水浴場		7月16日～8月21日	
	川奈海水浴場			
	川奈いるか浜公園※			
伊豆市	土肥海水浴場	公営	7月16日～8月25日	ライフセーバーの配備 大仁警察署による臨時警備派出所設置
	小土肥海水浴場			ライフセーバーの配置

## 令和 4 年度の静岡県観光施策

## 1 要 旨

- ・県では、観光産業の早期回復に向けた需要喚起策や、食、歴史文化、温泉など本県の多彩な観光資源を活用したツーリズムの推進による新たな需要の創出、観光情報の収集・分析や旅行者に合わせた情報発信など観光分野のDXの推進に重点的に取り組んでいる。
- ・また、ふじさん駿河湾フェリーの利活用促進や、原油価格・物価高騰等に直面する交通事業者に対する支援にも取り組む。

## 2 主な事業の概要

(単位：千円)

区 分		主な内容	予算額 (繰越含む)
観光需要の喚起	しずおか元気旅等 関連事業	国の補助制度を活用した観光促進事業「今こそ しずおか 元気旅」等を実施 ・5/9～7/14 隣接県等対象拡大 ・全国旅行支援に移行予定	28,755,032
しずおかサステナブルツーリズムの推進	サステナブル ツーリズム推進事業	経済、社会、環境へ配慮したツーリズムを推進 ・モデルツアー	20,000 (6月補正)
	ガストロノミー ツーリズム推進事業	地域の食と、背景にある歴史・文化、自然環境などを楽しむガストロノミーツーリズムを推進 ・研究会・コーディネーター ・モデルツアー	40,000
	歴史・文化資源を活用 した広域連携事業	大河ドラマ「鎌倉殿」「家康」放送の機会を捉え、地域の歴史・文化資源を活用した誘客を推進 ・旅行商品造成支援（補助金） ・Web スタンプラリー	100,500
観光分野におけるDXの推進	観光デジタル化 関連事業	データを収集・分析し、共有する「観光デジタルプラットフォーム」を販促等に活用 ・観光アプリ TIPS の利用促進 ・地域通貨実証事業	182,000
その他	駿河湾フェリー 利活用促進事業	ふじさん駿河湾フェリーの利活用を促進 ・運航経費の一部負担 ・環駿協による利用促進 ・二次交通の強化	233,700
	交通事業者による 誘客・周遊促進事業	交通事業者が地域と連携して行う誘客・周遊促進を支援 ・補助率 1/2（運賃割引にかかる経費は 10/10） ・上限 1,000 万円	200,000 (6月補正)

(千円)

市町	事業名	事業費	概要
下田市	OTA等広報強化事業	15,000	OTA事業者を経由した旅行商品の販売により宿泊客の獲得を図るとともに、地域クーポンを発行し地域経済の活性化を図る。(楽天トラベル・じゃらん等) [R4. 4. 1~R4. 7. 30] ※期間延長の場合有り
下田市	デジタルコンテンツ強化事業	11,200	L I N Eと連携した各種事業を展開 ・デジタルスタンプラリー、デジタルクーポン ハッシュタグ収集システム構築 [R4. 4. 1~R4. 3. 31]
東伊豆町	宿泊割引キャンペーン事業	22,481	東伊豆町民、賀茂地区住民、姉妹都市(岡谷市)を対象とした宿泊補助等による誘客。(事業主体:東伊豆町観光協会) ①東伊豆町民(10,000千円): 宿泊・夕食補助 5,000円×2,000人 ②賀茂地区住民(7,500千円): 宿泊補助 5,000円×1,500人 ③姉妹都市岡谷市(3,500千円): 宿泊補助+町内クーポン(5,000円+クーポン2,000円)×500人 [実施時期:R4. 9月以降]
東伊豆町	誘客対策事業	23,880	エージェントなど旅行代理店等を活用した、不特定多数の人に対する誘客対策。(事業主体:東伊豆町観光協会) ①ネット予約対象キャンペーン(1)(11,000千円) 秋冬対策(9月~12月) 宿泊割引クーポン、地域クーポン券(お買物券) ムーンロード列車企画 ②ネット予約対象キャンペーン(2)(6,000千円) 河津桜と雛のつるし飾り祭り(1月~3月) 宿泊割引クーポン、地域クーポン券(お買物券) ③シニア対象キャンペーン(6,000千円) ゆこゆこ等の雑誌を媒体とした誘客(9月以降) 宿泊割引クーポン、地域クーポン券(お買物券) ④SBC放送キャンペーン(長野放送)(880千円) ラジオプロモーションでの旅行企画(2月~3月)
東伊豆町	クーポン券発行事業	6,300	町内での観光客の滞留時間を増やし、消費喚起を図る為、消費需要の高い観光関係施設で使えるクーポン券をイベントで発行し町内消費に結びつける。(事業主体:東伊豆町観光協会) イベントで来場した人に対し1,000円のクーポン券を発行し町内店舗で利用してもらう。 ①クーポン券(6,000千円): 1,000円クーポン×6,000枚 使用店舗:飲食店、ガソリンスタンド、小売店、 観光レジャー施設 実施時期:10月・11月のすすきイベント期間 河津さくら・雛のつるし飾り祭り期間
河津町	新型コロナウイルス感染症対応経済対策事業 【プレミアム商品券事業補助金】	31,800	商工会がプレミアム商品券を販売する事業に対して助成を行うことにより、地域経済の回復を支援する。 1セット10,000円(額面15,000円)を6,000セット販売。
河津町	新型コロナウイルス感染症対応経済対策事業 【受注機会拡大対策事業補助金】	8,800	商工会がプレミアム工事券を販売する事業に対して助成を行うことにより、地域経済の回復を支援する。 1セット5,000円(額面6,000円)を8,000セット販売。

河津町	新型コロナウイルス感染症対応経済対策事業 【小規模事業者おもてなし工事補助事業補助金】	2,530	新型コロナウイルス感染症対策を含めた、観光客や消費者に提供する空間におけるおもてなし向上に繋がる工事に対して補助を行う。 25万円×10件（1/2補助・上限50万円）
河津町	新型コロナウイルス感染症対応観光対策事業 【教育旅行・合宿・スポーツ大会等参加誘致促進事業補助金】	2,000	教育旅行・合宿・スポーツ大会等参加団体へ補助することにより、河津町内の施設利用を促進する。 教育旅行10万円×10件（1/2補助 上限10万円） 合宿20万円×2件（1/2補助 上限20万円） スポーツ大会等参加 宿泊を伴うもの5万円×8件（1/2補助 上限5万円） 宿泊を伴わないもの500円×400人（温泉会館利用料補助）
南伊豆町	伊勢海老まつり宿泊割引キャンペーン	22,759	まつり期間中の町内宿泊施設利用者を対象に宿泊割引キャンペーンを実施（宿泊クーポン券1人5,000円、町内施設で利用できる体験クーポン券1人3,000円を発行）
南伊豆町	みなみの桜と菜の花まつり宿泊割引キャンペーン	6,802	まつり期間中の町内宿泊施設利用者を対象に宿泊割引キャンペーンを実施（宿泊クーポン券1人4,000円、町内施設で利用できる体験クーポン券1人2,000円を発行）
松崎町	プレミアム商品券事業（新型コロナウイルス対策）	52,000	商工会が行うプレミアム商品券事業（プレミアム率50%）に対して助成を行い、町内経済の活性化を図る。 1冊5,000円（額面7,500円）を20,000冊販売。
西伊豆町	ロケツーリズム事業	17,000	町・観光協会・商工会等で組織された「ロケさぼ西伊豆」によりロケ誘致に取り組んでいる。 ロケ支援（R2年度：27件 R3年度：71件）
西伊豆町	観光コンテンツクラウド配信システム整備事業 （森と海の6次産業化プロジェクト）	11,280	町内宿泊施設等に50インチ液晶モニターを設置し、クラウド配信システムを活用して観光PRコンテンツを一斉配信している。
西伊豆町	観光地域づくり事業	4,000	観光・商工事業者やNPO、町が連携し、観光資源を活用した新たな個人向け小旅行や、教育旅行などの誘致に向けた取り組みを実施。

## 共同調達に関する連携の検討について（案）

（賀茂地域局）

## 1 要旨

賀茂地域の市町における物品調達の低コスト・事務効率化を図るため、市町間連携による共同調達体制の構築を目指す。

そのため、各市町で定期的な更新（調達）を行っている災害備蓄食料を対象とした共同調達を実施し有用性を確認した上で、他品目における共同調達の可能性を検討する。

（共同調達のメリット）

- ・スケールメリットによる廉価での調達
- ・調達事務の効率、省力化
- ・同一仕様にすることで、非常時における円滑な融通、受入体制を担保

## 2 実施概要

年度	項目	内容
R 4	共同調達実施方法の調整	○実施体制の確認 ○入札・契約方法の確認
	災害備蓄食料の共同調達の 実証	県・市町 危機管理担当課長会議等既存体制を活用し、実施にむけた調整を行う ○市町の災害備蓄食料の更新予定を整理 ○購入品目や時期等の調整 ○購入スケジュール等の策定
	共同調達の運用に向けた 検討	実証結果を踏まえ、賀茂地域広域連携会議幹事会にて、他品目における共同調達の運用体制について検討
	賀茂地域広域連携会議へ の報告	災害備蓄食料の共同調達の結果及び、共同調達体制運用についての検討結果を踏まえ、共同調達の可能性について報告

## 自治体での共同調達事例

自治体	物品	実績等
大阪府・大阪市	災害備蓄用保存食（アルファ化米、ビスケット）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約 400 万円の削減</li> <li>・入札参加者増加</li> </ul>
システム共同化推進協議会（神奈川県川崎町村会）	PC、プリンタ、スキヤナ、バーコードリーダー、圧着機等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1年度は、PC（1152台）、プリンタ（31台）等の共同調達</li> </ul>
長崎県市町村行政振興協議会	PC、プリンタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1年度は、PC（266台）、プリンタ（11台）等の共同調達（対定価落札率はPCが36.9%、プリンタが44%）</li> </ul>
鹿児島県市町村情報センター	PC、ディスプレイ、プリンタ、住基関連機器、LGWAN関連機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住基ネット関連機器で、他県を含む78団体が共同調達</li> <li>・LGWAN関連機器の落札率は37.8%</li> </ul>
秋田県町村電算関連物品等共同調達協議会	PC、プリンタ、ファイル暗号化サーバーライセンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1年度は、PC（363台）、ディスプレイ（43台）の共同調達</li> </ul>
滋賀6町行政情報システムクラウド共同利用事業推進協議会	PC、プリンタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1年度は、PC（214台）、プリンタ（33台）の共同調達</li> </ul>
広島県、海田町、大崎上島町	防災備蓄用品（アルファ化米、クラッカー、簡易トイレ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1年度は、アルファ化米（8550食）、クラッカー（48360食）、簡易トイレ（1915セット）</li> </ul>
尾三地区自治体連携事業（愛知県）	電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度は、約5200万円の削減</li> </ul>

（『令和元年度 調査研究報告書 特別区のスケールメリットを生かした業務効率化』（特別区長会調査研究機構）を参考に作成）

## 災害備蓄食料の共同調達の実証

(賀茂地域局危機管理課)

### 1 要旨

「災害備蓄食料の共同調達の実証」に向けて、賀茂地域局危機管理課と各市町危機管理担当課が連携し、調達のためのスケジュール及び仕様書の作成等の作業を進めていく。

### 2 対応概要

#### (1) 災害備蓄食料の更新(賞味期限)リストの概要

(単位：食)

品目・賞味期限	R4年度中			R5年度中	R6年度中
	12月以前	1月以降	年度計		
ごはん類	17,150	16,800	33,950	72,450	85,566
パン・ビスケット	0	9,432	9,432	13,372	13,147
飲料水	0	0	0	20,436	18,930

※ 各市町の備蓄食料リストから作成。詳細は別添リストを参照。

#### (2) 調整項目

- ・ 購入(納入)時期
- ・ 購入品目
- ・ 業者指名

※ 各市町の購入備蓄食料全てについて、時期や品目を絶対的に統一する訳ではないが、共同調達すると決定した時期にできるだけ多くのものを購入できるように調整を図り、スケールメリットの獲得を目指していく。

#### (3) 対応スケジュール

時期	事項	内容・その他
6月下旬	市町ヒアリング	市町危機管理担当から意見等聴取
7月下旬頃	県・市町 危機管理担当課長会議	今後の対応及び方針確認
8月～	担当者打合せ ほか	上記「調整項目」に係る調整 ～リストを含む仕様書作成
11月～12月頃	災害備蓄食料納入	住民に備蓄食料の配布等を行う地域防災訓練の実施時期(12月上旬)に合わせて設定

※ 「災害備蓄食料納入」の時期は、地域防災訓練のタイミングに合わせた例示であり、詳細は今後調整を行っていく。

賀茂管内市町備蓄食糧一覧

(単位：食)

市町名	大区分	中区分	賞味期限 品目	令和4年度						令和5年度									令和6年度									
				R4.9	R4.8	R5.1	R5.2	R5.3	R4 小計	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R6.1	R6.2	R5 小計	R6.4	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R6 小計
下田市	ごはん	アルファ米	アルファ米						0				8,000			15,500		23,500							10,000			10,000
	ごはん	雑炊	玄米がゆ			7,000		1,300	8,300				7,500			6,100		13,600							6,100			6,100
	パン	パン・カンパン	めぐみパン						0				4,000			7,500		11,500							3,000			3,000
	ビスケット	ビスケット	ビスケット				9,000		9,000									0										0
	水	水	2リットル						0				4,008					4,008										0
	水	水	500ミリリットル						0							5,256		5,256							4,008			4,008
	その他	液体ミルク	液体ミルク(240ml)	240					240									0										0
東伊豆町	ごはん	アルファ米	アルファ米						0		3,850						3,850			14,900						14,900	29,800	
	ごはん	アルファ米	レトルト						0								0										0	
河津町	ごはん	アルファ米	アルファ米	1,400					1,400						2,250		2,250											0
	ごはん	雑炊	雑炊						0								0										0	
	パン	パン・カンパン	1箱24個入						0	432							432											0
	パン	パン・カンパン	バターパン						0								0											0
	ごはん	ごはんその他	サバイバルフーズ			3,940			3,940								0						120					120
	水	水	2リットル						0						450		450											0
	水	水	500ミリリットル						0								0											0
	その他	液体ミルク	明治らくらくミルク						0								0											0
南伊豆町	ごはん	アルファ米	アルファ米		15,750				15,750					15,150		4,500	19,650		750	15,600						16,000	32,350	
	パン	パン・カンパン	缶入りソフトパン					432	432							1,440	1,440								1,440	1,440		
	水	水	2リットル						0				10,722			10,722			4,920	10,002							14,922	
松崎町	ごはん	アルファ米	アルファ米						0		5,600					5,600			3,036						2,000	5,036		
	ごはん	レトルト	レトルト米						0							0										0		
	パン	パン・カンパン	缶詰パン						0							0								4,200		4,200		
	ビスケット	ビスケット	フリーズドライビスケット						0							0		2,779								2,779		
	水	水	飲料水						0							0										0		
西伊豆町	ごはん	アルファ米	アルファ米						0		4,000					4,000											0	
	ごはん	レトルト	ユニフーズレトルトタイプ						0							0											0	
	パン	パン・カンパン	新食缶ベーカリー						0							0								1,728		1,728		
	パン	パン・カンパン	ひだまりパン						0							0											0	
	ごはん	ごはんその他	サバイバルフーズ					1,560	1,560							0					1,200						1,200	
	ごはん	ごはんその他	KAGOME野菜たっぷりスープ						0							0									960		960	
	ごはん	ごはんその他	おでん缶					3,000	3,000							0											0	
全市町小計	ごはん			1,400	15,750	10,940	0	5,860	33,950	0	3,850	9,600	15,500	15,150	2,250	21,600	4,500	72,450	0	750	33,536	0	1,200	120	18,100	16,960	14,900	85,566
	パン・ビスケット			0	0	0	9,000	432	9,432	432	0	0	4,000	0	0	7,500	1,440	13,372	2,779	0	0	0	0	1,728	7,200	1,440	0	13,147
	その他			240	0	0	0	0	240	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	水			0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,008	10,722	0	5,706	0	20,436	0	0	4,920	10,002	0	0	4,008	0	0	18,930
合計				1,640	15,750	10,940	9,000	6,292	43,622	432	3,850	9,600	23,508	25,872	2,250	34,806	5,940	106,258	2,779	750	38,456	10,002	1,200	1,848	29,308	18,400	14,900	117,643



## 賀茂地域住民アンケートの実施について

(賀茂地域局地域課)

### 1 概要

人口減少や少子高齢化等の課題解決に向け、賀茂地域が新たな価値を創造できる場所、新たな生き方を実現できる場所となるため、必要な施策について考察を行うことを目的としたアンケート調査を実施する。

### 2 内容

#### (1) アンケート調査

名称	目的	対象者
学生アンケート	「今後も賀茂地域に住みたい、働きたい」ことに関する若者世代の意向を調査	賀茂地域の小・中・高 31 校の最高学年
住民アンケート	学生アンケートの結果を踏まえた上で、「地域のあり方をどのように捉えるか」を調査	賀茂地域の全住民 57,451 人 (R4.5.1)
二十歳の若者アンケート	進学や就職を通して、「賀茂地域に住む（住み続ける）」ことに関する意向を調査	二十歳の集い対象者 (原則、賀茂地域に住民票のある二十歳)

#### (2) 結果分析・概要版の作成

- ・各アンケート調査の分析
- ・概要版（リーフレット）の作成
- ・報告書の作成

#### (3) 調査結果の広報

- ・新聞への掲載
- ・講演会等での説明(新規)

→「賀茂の子」として高校生会議所のメンバーや「地域で輝く賀茂のカリスマ！（カモスマ）」事業で取り上げた方を交えた講演会の実施を検討。

### 3 スケジュール

日程	内容
～6月下旬	アンケート内容の検討・委託先選定・委託契約
契約後～9月上旬	学生アンケート調査
9月上旬～9月下旬	学生アンケート調査結果分析・概要版作成
10月上旬～11月上旬	住民アンケート調査
11月上旬～11月下旬	住民アンケート調査結果分析・概要版作成
1月上旬～1月下旬	二十歳の若者アンケート調査・結果分析・概要版作成
2月中旬～	結果公表・広報

#### 4 委託先

一般社団法人伊豆半島創造研究所（下田市 2 丁目 12-17）  
平成 28 年度、令和元年度委託先。

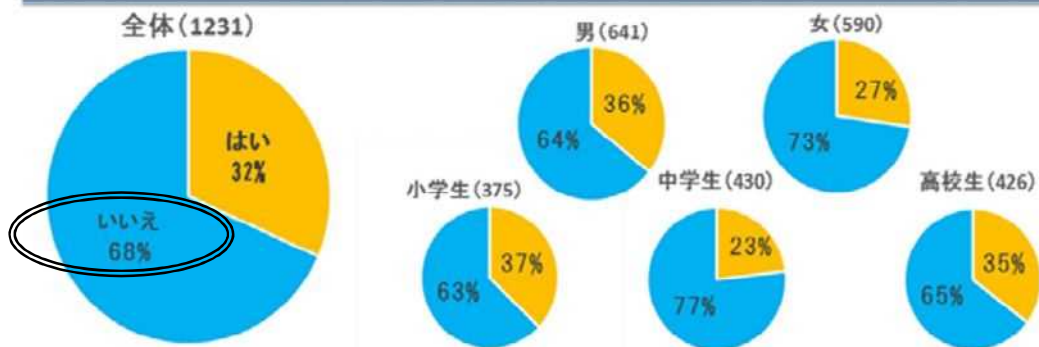
#### 5 前回調査結果（R 元年度）

（抜粋）今から 15 年後、賀茂地域に住んでいたいですか？

→住んでいたくない 68%（H28 年度から 7 ポイント上昇）

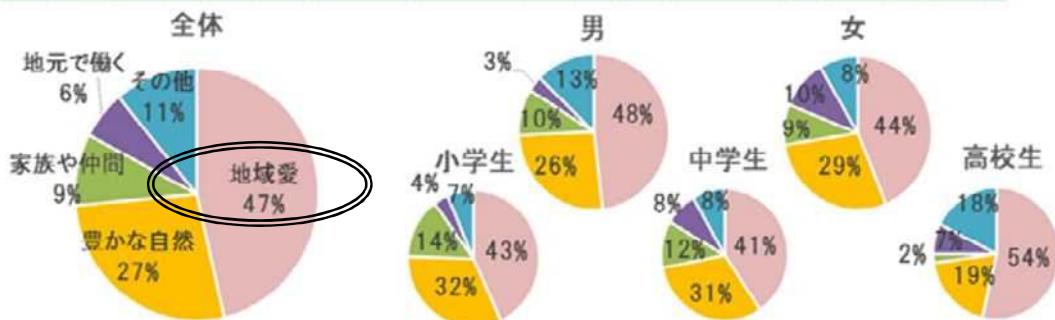
Q1 今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか？

全体で7割を超える生徒が「住んでいたくない」と答え、全体では女性、年代では中学生の割合が特に多い。



Q2 その理由はどうしてですか？ [はい] 住んでいたい理由

地元に残りたい理由は「地域への愛情」「豊かな自然が気に入っている」「家族や仲間」が多くを占める。高校生の地元への愛情の比率が高く、家族や仲間の存在を理由にする生徒は高学年程少なくなった。



※詳細は別紙リーフレット参照。

調査結果を受けて、地域に愛着のある「賀茂の子」づくりに向けた取組を実施。

- ・「地域で輝く賀茂のカリスマ！（カモスマ）」事業

地元の仕事や魅力を紹介することで、関わりのなかった分野の仕事について理解を深めるとともに、将来の定住希望につなげる。

- ・「未来を切り拓く Dream 授業・賀茂版」の開催

賀茂地域に親交の深い講師陣の講義を通じて、地域の実情や講師の人間性に触れ、自分の生まれ育った地域が大好きな子供たちを育成する。

😊 静岡県賀茂地域局からのお知らせです。

# 『賀茂の子』が育つ地域づくりに向けて!

※賀茂地域の1市5町と静岡県賀茂地域局で構成する「賀茂地域広域連携会議」では、『賀茂の子』づくりなど賀茂地域の様々な課題解決のための取組を進めています。

『賀茂の子』とは  
“賀茂はひとつ”の  
想いのもと、  
ふるさとに誇りをもち、  
地域の発展に  
貢献できる人。

## ●賀茂地域の学生・住民の皆さんを対象にアンケートを行いました。

対象

賀茂地域(1市5町)の19小学校、12中学校、4高校の  
それぞれ最終学年の児童・生徒 ※回答数=1,237人

対象

賀茂地域(1市5町)の全住民  
※回答数=2,547人

Q 今から15年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか?

2016年度 ...▶ 3年前との比較 ...▶ 2019年度



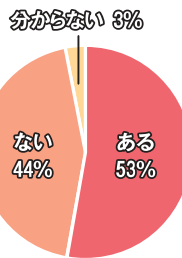
理由



※『はい』(住んでいたい)の理由



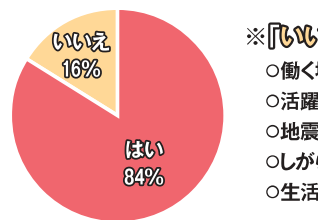
Q 将来やりたい仕事や  
なりたい職業は  
賀茂地域に  
ありますか?



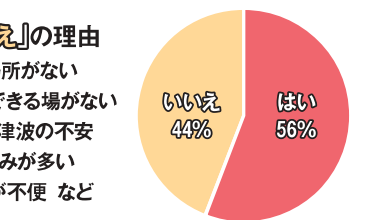
Q どんな仕事?

『ある』公務員  
医療関係 など  
『ない』スポーツ関係  
ファッション関係  
動物・ペット関係 など

Q 将来的にもっとたくさん  
の人に住んでほしいと  
思いますか?



Q あなたの子供や孫に、  
将来地元に住んでほしい  
と思いますか?

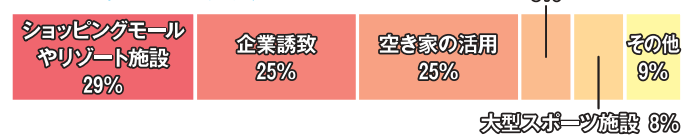


※『いいえ』の理由

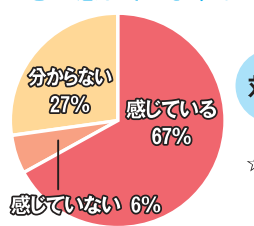
- 働く場所がない
- 活躍できる場がない
- 地震・津波の不安
- しがらみが多い
- 生活が不便 など

☆地域のために、多くの人に住んでほしいと考える人が多いが、  
自分の子供や孫には外で活躍してほしいという思いが表れています。

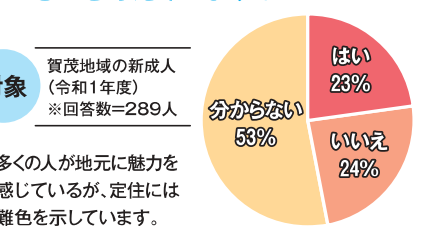
Q こんな取り組みがあるといいな!  
と思うことは何ですか?



Q 市町に魅力  
を感じていますか?



Q 将来、市町内で生活し続けたい  
と考えていますか?



対象

賀茂地域の新成人  
(令和1年度)  
※回答数=289人

☆多くの人が地元の魅力を感じているが、定住には  
難色を示しています。

☆上記のアンケート結果を参考にして...

## ●教育の現場では、「賀茂地域教育振興方針」を策定し、『賀茂の子』を育てることに取り組んでいます。

### 賀茂の教育の 基本方針

学校・家庭・地域が連携し、  
地域全体で『賀茂の子』  
を育てる環境づくり

学校教育・社会教育の  
魅力化により、教育で  
人を呼び込む地域づくり

3つの  
方向性

1 賀茂地域の将来に向けて、地域全体で取組を  
進めていく一体感の形成  
①『賀茂の子』理念の共有

2 子供たちが「賀茂地域に帰ってきたい」と思える  
よう、地域の魅力を伝える教育の充実  
①幼児教育の推進  
②活力ある小・中学校づくり(学校統合などの研究含む)  
③高校の魅力化  
④大学・学生との連携(地域との連携・交流の推進)

3 子供たちが地元に戻ってきて、学び続けること  
や地域に貢献できる環境の構築  
①大学・学生との連携(地域づくり人材の育成)  
②社会教育の魅力化

### 基調講演

静岡大学(R2,1,24実施済) ※写真●、静岡県立大学、  
静岡文化芸術大学の基調講演の開催

### 社会人コース

静岡県立大学「観光を中心とした最近の経済動向」、  
静岡大学「地域づくりを学ぶ社会人コース」  
(静岡県立大学・静岡文化芸術大学と連携)

### 観光コースの利活用

静岡県立大学・静岡文化芸術大学等による賀茂地域の  
ホテル・旅館を実践の場として活用など

### フィールドワーク

大学等のゼミ活動等(R2,1,24 下田市まち歩き) ※写真●

### 大学・高校交流

大学間交流、合同大学説明会・オープンスクール

### 地域交流

NPO・児童生徒・地域コミュニティ・民間・行政の交流  
(R2,1,24 大学生・高校生による Living Anywhere  
Commons視察) ※写真● 住民の学ぶ機会創出

### 地域体験

1次産業体験、観光資源(シオ等)体験、観光業(宿泊施設・ガイド)インターンシップ、  
文化伝統活動など

### 賀茂キャンパス 始めました! [活用例]



■アンケートの詳細な結果等は、賀茂地域局のホームページをご覧ください。

【お問合せ】 静岡県賀茂地域局 ☎0558-24-2202